

製造業

〈食料品〉

〔パン製造業〕

売上は、対前年比ほぼ横這いである。材料は値上がっており、収益状況は厳しい。

〔食品製造業〕

売上は減少するも、労務量の効率化、材料ロスの削減で対応し、収益を確保していく。しかし、原材料は高くなりつつあるので、さらにロス削減努力が求められる。

〈繊維・同製品〉

〔織物業〕

まだまだ景気回復の兆しが見えず、沈滞ムードが続くようである。

〈木材・木製品〉

〔製材業・木製品製造業〕

4月後半より少し荷動きは好調であるが、業界としては今ひとつという状況である。

〈窯業・土石製品〉

〔砂・砂利・玉石採取業〕

当該地区の細骨材（海砂・スラグ）需要は引き続き減少傾向が続くものと予測している。対前年比99%。

〈鉄鋼・金属〉

〔銑鉄鋳物製造業〕

顧客の海外移転等による国内市場の縮小が続いている。電気料金的大幅値上げ、円安による材料価格のUPが収支を圧迫している。

〈電気機械器具〉

〔電気機械器具製造業〕

売上高は、先月から減少したが、前年同月比でほぼ同量である。平成25年度は、景況とともに、発注元のロボット海外生産量産開始（上期）による影響などを引き続き注視したい。

非製造業

〈卸売業〉

〔機械器具卸売業〕

年度末からの影響もあり、廃車の仕入が若干ではあるが増加した。今後もこのように推移していけば、経営の安定に繋がると期待している。

〈小売業〉

〔茶小売業〕

天候不順による数量の減少により、価格が若干高くなっている。今後、急須で入れて飲むお茶のPRが益々重要になってくると思われる。

〈商店街〉

〔福岡市〕

天候は不順だが、人出も多く活気は戻っている。

〔飯塚市〕

中心商店街への関心が薄れ、集客力の低下、個店の人材不足、売上減少による仕入れ商品の減少となっている。

〈サービス業〉

〔倉庫業〕

燃料費（ガソリン）高騰の影響を受けている。

〔ビル管理業〕

原材料が上昇しているため、メーカー側から10～15%のUPがきている。

〈建設業〉

〔板金〕

工事量としては、やや減収している。円安により、色々な経費がアップし、少しずつ影響している。材料費の値上げも予定されており、対応が迫られている。

〈運輸業〉




〔道路貨物運送業〕

円安により、燃料価格が高止まりしている中、荷主への価格転嫁が進まず、収益状況は依然として厳しい。

福岡県の業種別DI値の変化

(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前 年 同 月 比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰	設備操業度	雇用人員	景 況
製 造 業	食料品	↓	→	→	→	→	→	↓	→	→
	繊維・同製品	↓	↑	→	→	→	→	→	→	→
	木材・木製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	印刷	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	窯業・土石製品	↑	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	↓	→	↓	↓	↓	→	↓	→	↓
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	→	↓
非 製 造 業	卸売業	↑	↑	→	→	→	→	—	→	↑
	小売業	→	→	→	→	→	→	—	→	↓
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	サービス業	↓	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	↓	→	—	→	→
D・I		-15	-2	-2	-13	-22	-12	-11	-5	-25

	増加・上昇・好転		不変		減少・下落・悪化
---	----------	---	----	---	----------

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

- 「販売価格」DIは、前年同月比で19ポイント上昇している。
- 「収益状況」DIは、前年同月比で10ポイント上昇している。
- 「景況感」DIは、4ヶ月連続で上昇しており、前年同月比で12ポイント上昇している。

全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>